

転がり軸受関連JIS一覧表

2016年5月現在

JIS番号	年- 制定・改正・確認	規 格 名 称	対応国際規格
JIS B 0005-1	2014-確認	製図－転がり軸受－第1部：基本簡略図示方法	ISO 8826-1
JIS B 0005-2	2014-確認	製図－転がり軸受－第2部：個別簡略図示方法	ISO 8826-2
JIS B 0104	2010-確認	転がり軸受用語	ISO 5593
JIS B 0124	2013-確認	転がり軸受－量記号	ISO 15241
JIS B 0161	2014-確認	球面滑り軸受－用語	ISO 6811
JIS B 1501	2013-確認	転がり軸受－鋼球	ISO 3290-1
JIS B 1506	2014-確認	転がり軸受－ころ	ISO 3096
JIS B 1509	2014-確認	転がり軸受－止め輪付きラジアル軸受－寸法及び精度	ISO 464
JIS B 1510	2010-制定	転がり軸受－ラジアル軸受，固定用切欠き－寸法及び公差	ISO 20515
JIS B 1511	2013-確認	転がり軸受総則	—
JIS B 1512-1	2011-制定	転がり軸受－主要寸法－第1部：ラジアル軸受	ISO 15
JIS B 1512-2	2011-制定	転がり軸受－主要寸法－第2部：平面座スラスト軸受	ISO 104
JIS B 1512-3	2011-制定	転がり軸受－主要寸法－第3部：円すいころ軸受	ISO 355
JIS B 1512-4	2011-制定	転がり軸受－主要寸法－第4部：外輪フランジ付きラジアル玉軸受のフランジ寸法	ISO 8443
JIS B 1512-5	2011-制定	転がり軸受－主要寸法－第5部：単列円筒ころ軸受のつばのない側及びつば輪の面取寸法	ISO 12043
JIS B 1512-6	2011-制定	転がり軸受－主要寸法－第6部：単列アンギュラ玉軸受の外輪正面の面取寸法	ISO 12044
JIS B 1513	2014-確認	転がり軸受の呼び番号	—
JIS B 1514-1	2010-確認	転がり軸受－軸受の公差－第1部：ラジアル軸受	ISO 492
JIS B 1514-2	2010-確認	転がり軸受－軸受の公差－第2部：スラスト軸受	ISO 199
JIS B 1514-3	2010-確認	転がり軸受－軸受の公差－第3部：面取寸法の最大値	ISO 582
JIS B 1515-1	2011-確認	転がり軸受－公差－第1部：用語及び定義	ISO 1132-1
JIS B 1515-2	2011-確認	転がり軸受－公差－第2部：検証の原則及び方法	ISO 1132-2
JIS B 1516	2015-改正	転がり軸受－表示	—
JIS B 1518	2013-改正	転がり軸受－動定格荷重及び定格寿命	ISO 281
JIS B 1519	2013-確認	転がり軸受－静定格荷重	ISO 76
JIS B 1520-1	2015-制定	転がり軸受－内部すきま－第1部：ラジアル軸受のラジアル内部すきま	ISO 5753-1
JIS B 1520-2	2015-制定	転がり軸受－内部すきま－第2部：4点接触玉軸受のアキシアル内部すきま	ISO 5753-2
JIS B 1521	2012-改正	転がり軸受－深溝玉軸受	—
JIS B 1522	2012-改正	転がり軸受－アンギュラ玉軸受	—
JIS B 1523	2012-改正	転がり軸受－自動調心玉軸受	—
JIS B 1532	2012-改正	転がり軸受－平面座スラスト玉軸受	—
JIS B 1533	2013-改正	転がり軸受－円筒ころ軸受	—
JIS B 1534	2013-改正	転がり軸受－円すいころ軸受	—
JIS B 1535	2013-改正	転がり軸受－自動調心ころ軸受	—
JIS B 1536-1	2013-確認	転がり軸受－針状ころ軸受の主要寸法及び公差－第1部：寸法系列48，49及び69	ISO 1206
JIS B 1536-2	2013-確認	転がり軸受－針状ころ軸受の主要寸法及び公差－第2部：内輪なしシエル形	ISO 3245

JIS番号	年 制定・改正・確認	規 格 名 称	対応国際規格
JIS B 1536-3	2013-確認	転がり軸受－針状ころ軸受の主要寸法及び公差－第3部：ラジアル保持器付き針状ころ	ISO 3030
JIS B 1536-4	2013-確認	転がり軸受－針状ころ軸受の主要寸法及び公差－第4部：スラスト保持器付き針状ころ及びスラストワッシャ	ISO 3031
JIS B 1536-5	2013-確認	転がり軸受－針状ころ軸受の主要寸法及び公差－第5部：トラックローラ	ISO 7063
JIS B 1539	2013-改正	転がり軸受－スラスト自動調心ころ軸受	—
JIS B 1540	2010-制定	転がり軸受－調心座スラスト玉軸受及び調心座金付きスラスト玉軸受－主要寸法	ISO 20516
JIS B 1548	2014-確認	転がり軸受の騒音レベル測定方法	—
JIS B 1550	2010-制定	転がり軸受－熱定格回転速度－計算方法	ISO 15312
JIS B 1551	2013-確認	転がり軸受－プランマブロック軸受箱	ISO 113
JIS B 1552	2012-改正	転がり軸受－アダプタ，アダプタスリーブ及び取外しスリーブ	ISO 2982-1
JIS B 1554	2016-改正	転がり軸受－ロックナット，座金及び止め金	ISO 2982-2
JIS B 1557	2013-確認	転がり軸受－インサート軸受ユニット	—
JIS B 1558	2013-確認	転がり軸受－インサート軸受及び偏心固定輪	ISO 9628
JIS B 1559	2013-確認	転がり軸受－インサート軸受用鑄造及び鋼板軸受箱	ISO 3228
JIS B 1562	2013-確認	転がり軸受－損傷及び故障－用語，特性及び原因	ISO 15243
JIS B 1563	2013-確認	転がり軸受－窒化けい素球	ISO 3290-2
JIS B 1566	2015-改正	転がり軸受－取付関係寸法及びはめあい	—

JISは、工業標準化法に基づき、日本工業標準調査会（調査会）の議決により、主務大臣が必要と認め制定する国家規格です。また、主務大臣は、JISの制定、確認又は改正の日から5年を経過する日までに、それがなお適正であるかを調査会に審議に付し、調査会の議決により、確認、改正又は廃止を行います。

制定：調査会の議決により、主務大臣が国家規格として必要と認め、新たにJISとして制定するものです。

改正：調査会の議決により、主務大臣が当該JISを年月の経過に伴って改めることが必要と認めたとき、改正されます。

確認：調査会の議決により、主務大臣が当該JISを年月を経過してもなお適正であると認めたとき、内容を変更せずに、確認するものです。